

しんぶん
赤旗

日刊 ●月 3497円
日曜版 ●月 930円



南地域後援会は本町・寿・緑・若松・栄・白山・船戸・新田がエリア

連絡をいただければ「しんぶん赤旗」の見本を届けます

しらかば

日本共産党我孫子南地域後援会
発行責任者 木村 文次

12月議会報告 傍聴記

市民目線に立ち市政の活性化を

12月議会は11月に行われた市議選後、初めての議会で、12月6日から22日まで開催されました。議案は21で、陳情1、請願1を討論しました。請願「国へ高齢性難聴者補聴器購入補助についての意見書」については可決となりましたが、陳情「天王台4丁目マンション建設環境問題改善指導」は否決となりました。

日本共産党市議団の質問は12月14日に行われ、傍聴席には20名位集まり、市民の関心の高さを感じました。質問の冒頭、議長から1議員欠席、1議員遅刻の報告があり、理由は明らかにしませんでした。首をかじりました。

岩井議員は2つの質問をしました。1つ目は、地球温暖化防止対策についてです。54の市の施設の中で、太陽光発電を行っている施設はわずか9施設で、10年前に調査したときよりその後調査をしていないことが明らかになりました。

早急な調査と増設の要求をしました。2つ目は、9月議会に続く質問で、我孫子市にふさわしい手賀沼についてです。手賀沼には2つの漁協があり3・11後、魚の販売ができません。セシウムの基準は50ベクレル/kg以下です。令和5年の調査では9・2ベクレル/kgですが、現在も自粛しています。安全安心な手賀沼となるよう訴えました。

岩井議員の質問

船橋議員の質問

1つ目は、歩道の改善です。国道356号から二本榎踏切間の道路にガードレール又は安全ポール



初質問に立つ船橋優議員

船橋議員の初質問は3つです。

2つ目は、9月議会に続く質問で、我孫子市にふさわしい手賀沼についてです。手賀沼には2つの漁協があり3・11後、魚の販売ができません。セシウムの基準は50ベクレル/kg以下です。令和5年の調査では9・2ベクレル/kgですが、現在も自粛しています。安全安心な手賀沼となるよう訴えました。

3つ目は、選挙の投票率UPです。投票所が決められており、必ずしも自宅から近いとは限らず、投票率の低下の一因ではと追及しました。市の回答は全投票所をオンラインで結ぶにはお金が掛かり、つながらなくなる可能性もあり、できないとの事でした。

の設置を求めました。二本榎踏切は船橋議員が毎朝子ども見守りを続けている場所です。ラバーポールは可能との市の回答がありました。2つ目は、平和宣言都市を掲げる我孫子市で、広島・長崎のように原爆投下日に市民に黙とうを防災無線等で知らせることを提案しました。市の回答は8月に平和式典を行っていることや、広報あびこで周知していると提案に難色を示しました。

日本共産党我孫子市議団のホームページのサイトは <https://jcp-abiko.com/> です。スマホのQRコードはこちらから。→

(しらかば編集部)

能登半島地震災害募金

多数の死者を出し避難所での生活や寒さなどが痛みます。次の方法で救援募金をお預かりします

- 郵便振替
口座番号：00170-9-140321
加入者氏名：日本共産党災害募金係
- 又は、お知り合いの議員にお渡し下さい。必ずお届けします

通信欄に「能登半島地震募金」と記入下さい。手数料は負担下さい

我孫子駅「みどりの窓口」営業終了

我孫子駅の「みどりの窓口」が1月31日をもちて営業終了しました。(今月からは「オペレータと話せる指定席券売機」で購入)

私の学生時代、夏休み旅行の列車の指定席券を購入するため、乗車一週間前(当時)の発売日に、午前10時の発売開始前の6時から窓口前に並びました(それでも第一希望の列車は発売即満席で涙)

指定席券に限らず、以前はプロ野球やコン

サイトのチケット購入のために前日から徹夜(一週間前から)で並ぶのも当たり前でした。今では並ばなくても自分のスマートフォンやパソコンでもチケットが買えます。「並んで買う」という文化は終わったのかもしれない。人気のラーメン店やスイーツ店を除いては。

新春懇談会のお知らせ

▼我孫子市南近隣センター(けやきプラザ8階和室)
▼2月17日(土)14:00から

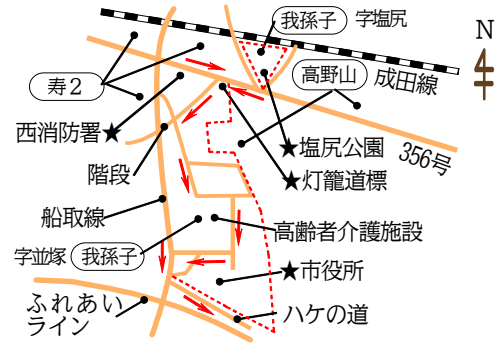
当日は市議を迎えての市政報告を予定しています。新しい年を迎えて国政・市政・暮らしの事など自由に話せる場にしますのでごぞって参加下さい。

主催 日本共産党我孫子南地域後援会

オオバン

元日は初詣を終え自宅であらういきました▼携帯に緊急地震速報のアラームが鳴り能登半島での最大震度7の地震を知りテレビでは輪島の朝市通りの大火災が報道されていました▼日を追うごとに被害の大きさを実感してきます。石川では住宅被害が約4・6万軒、死者は災害関連死を含め240名になり一時3・3万人が避難所に身を寄せました▼道路の陥没や交通網の寸断、津波、操業不能の漁港、土砂崩れの被害や液状化で傾く家など悲惨です▼停電や断水の復旧も急務です。断水の復旧には3、4月までかかります▼余震が続く救助活動と共に寒い避難所や自宅等で避難している方への一刻も早い国や自治体の対応が望まれます▼志賀原発では核燃料プールの冷却ポンプが一時停止し、避難する道路も寸断され、避難計画が机上の空論と証明されました。原発は即廃止すべきです。▼2日は羽田空港で日本航空機と海上保安庁の航空機の衝突事故が▼日航機の乗客乗員379名は炎上する中、危機一髪で脱出が無事でしたが海保機の乗員5名が亡くなりました▼羽田は国際空港化で超過密状態で人員配置が充分だったかも検証して頂きたい。(T)

我孫子古道巡り 2068 大字我孫子を巡る ③



今回は「大字我孫子」の南側を巡ります。県道船取線と356号(旧水戸線)の交差点から出発します。



塩尻公園と住宅

並びますが、なぜ大字我孫子のまま残ったのかは良くわかりません。表札には「我孫子1780番地」の表示があり、昔は「字塩尻」



南消防署

の一部でした。西は「寿2丁目」、東は「高野山」に囲まれた狭い地域です。

戻り、南側に「我孫子市消防本部・南消防署」があり、その手前の小道の傍に八角柱の「子大権現道」と



灯籠道標と小道

刻まれた灯籠道標があります。ここから県道船取線までと、市役所の裏までが「大字我孫子」で、昔は「字並塚」の一部でした。小道を入ると「東邦病院」

手前の階段に続きます。ここから「子の神大黒天」へ



東別館と看板

道が続きます。階段手前を南に向かいます。途中路地がいくつもあり、高齢者介護施設を過ぎると「我孫子市役所」です。



市役所前坂道

市役所から船取線への坂道には、以前法務局出張所があった名残で「司法書士事務所」が並びます。

坂を下り南に向かうと「ハケの道」がありますが、途中で行き止まりです。

(栄 関口)

参考文献「我孫子の地名と歴史」

しらかば文芸欄

17 備えあれば・栄 T



能登半島地震の大被害は「明日は我が身か」と思い知らされました。そして玄関の靴入れには緊急用呼び笛と黄色いタオルがありました。これは町会から配布されたもので、震度5以上の時、安否確認用にタオルを外に出しておくというものです。

良い方法ですが、残念ながら説明会や避難訓練はやっていません。まずは避難、そして生きるために電気・ガス・上下水道の復旧が何より大事だと思います。



常磐線あれこれ 36

交流流用3ドア赤電(401系)は1960年8月に落成。先ず既に交流電化で開業している東北本線で運転試験が行われました。

その後、電化工事が完成した常磐線取手以北で、取手ー藤代間デットセクションでの交流流切り換えを含めた運転試験が行われました。さらに年末年始の帰省ラッシュの期間中は運転試験を行わないため、上野ー福島間の臨時準急列車として運転されました。試験中の電車で営業運転とは、今ではありえない事ですが、新幹線も高速バスもない時代、帰省ラッシュの混雑解消

消には何でもありません。1961年6月1日、取手ー水戸間電化開業を迎えました。1449年の取手電化から実に12年の歳月がかかりました。

取手ー水戸間の利用者にとっては待望の電車、しかも新車両とくれば大真・ではありませんでした。3ドア赤電(401系)は1編成4両で、最大8両での運用でしたが、それまで通勤時間帯に、蒸気機関車が12両の客車を牽引していた列車を電車8両に置き替えたために座席数が減少しました。

6月26日から通勤時間帯の上下2本の電列車を、電化開業前の12両編成の蒸気機関車牽引の客車列車に置き替えるハブニングもありました。取手ー水戸間電化開業から10年後の1971年4月。常磐線複々線化・快速ー各駅停車分離運転により、上野ー取手間の快速電車を、それまでの10両から8両に減車したことにより大混雑になりました。



このときは引退予定の旧型車両を急遽復活して本数を増やしたのですが、残念ながら10年前の教訓が活かされませんでした。

(緑 竹内)



当時、新型車両の電車には予備車がなかったもので、

「川平湾(かびらわん)」 若松・高橋祥子

